



いわせ たつや
岩瀬 竜弥

竜美丘スタイル

ともに「笑顔」「学び」「感謝」を毎日 授業で輝く竜美っ子

この5年生ならできる、来年度を楽しみに

♪岡崎の竜美丘は 星までとどく〜♪

寒さを吹き飛ばした校歌合唱。4年ぶりに1～5年生全員が体育館に入って修了式です。代表児童3名による発表「1年を振り返って」では、

- 1年＝音読、クラスのための行動が自信に
- 3年＝リコーダー、レクの企画、勉強で助けた
- 5年＝山の学習のファイヤー、卒業を祝う会、と取り組みから成長を伝えました。

特に5年生では、役割をやりきった達成感、仲間と力を合わせるよさから、「この5年生ならできる、来年度を楽しみにしてほしい」と力強いメッセージを送りました。



私から「笑顔」「学び」「感謝」の視点で、

- 「え」・・・大きな事件、事故なし
悩んだときに友達や先生の存在が大きい
- 「ま」・・・授業が変わってきた
困ったら聞く、友達の考えをじっくり聞く
- 「か」・・・祝う会の発表、お別れ式の運営や卒業式の準備に感謝

と話をしました。最後の教職員打合せでは、5年生の発表を取り上げて、確実な成長とともに自己肯定感、有用感の高まる竜美っ子の姿に感動と感謝を伝えました。

5月から制限が解除され、日常を取り戻した令和5年度があと少しで幕を閉じます。保護者、地域の皆様には多大なるご理解とご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

私は心を込めて校歌を合唱する子供たちの姿を見て、天まで届く歌声を聞いて、安全・安心の保障と共に、**さらに輝く竜美っ子の教育**が大切であると決意を新たに。



お別れ式 代表児童「お別れの言葉」（抜粋・編集）
思い起こせば、ぼくたちはいつも、素敵な皆さんの姿を身近で見えてきました。
毎日の登校班、班の下級生を気遣う優しい姿がありました。班がばらばらにならないように見守る責任感、転んだ子がいれば心配し、不安を安心に変えてくれた頼もしさ、背中で教えてもらったことの一つです。
六年生の輝きは委員会でのリーダーシップにも見えました。学校をより良くするために進んで発言する姿は、最高学年として学校を引っ張っていく意気込みを感じました。このリーダーシップはいつしかぼくのがれとなり、ぼくが学級代表の役割を果たす上で目標となっています。（略）
ぼくたちの道標でいてくれた六年生の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんが築き上げた竜美丘小学校の伝統を、ぼくたちもしっかり引き継いでいきます。中学校に行っても、小学校で培った経験を胸に、大きく羽ばたいて行ってください。在校生一同、皆さんを応援しています。